

## 過去約 20 年間の米国訴訟関連の統計データ

2015年05月25日

特許業務法人

**HARAKENZO**  
**WORLD PATENT & TRADEMARK**

(旧称：特許業務法人原謙三国際特許事務所)

### 1. はじめに

1980年～2013年に、連邦地方裁判所における特許訴訟は増加しています。過去数年間に亘って特許訴訟の件数が急激に増加しています。特に、2012年において訴訟件数等が多くなりました。これは、(a) AIAにより、1件の訴訟において多数の被告を相手に訴訟を提起することができなくなったこと、及び、(b) 特許発行件数が増加したこと、及び、(c) USPTOによる審査の品質に問題があること等が主な理由として考えられます。

このような状況下で、特許出願のプロセキューションおよび特許訴訟を適切に処理していくうえで、過去の訴訟関連の統計データを知ることは有益であると考えます。そこで、次の(i)～(xii)の各種統計データについて以下に説明します。

- (i) 特許出願件数と特許訴訟件数の推移
- (ii) 平均獲得損害賠償額の推移
- (iii) 最初の裁定で提示された損害賠償額のトップ 10
- (iv) 陪審員による裁判と裁判官による裁判の割合の推移
- (v) 損害賠償の指標
- (vi) 特許権者の勝訴率
- (vii) 特許訴訟件数が多いトップ 10 の産業分野
- (viii) 公判までに要する年数および公判件数の推移
- (ix) 連邦地方裁判所のランキングと NPE が関与した事件の提訴先
- (x) PE と NPE の公判までに要する年数、全体の勝訴率、及び、平均獲得損害賠償額
- (xi) NPE のタイプによる平均獲得損害賠償額および勝訴率
- (xii) 現役のトップ 10 の連邦地方裁判所の判事による訴訟データ

**【全 16 頁】**

本件記事に関し、後続するさらなる詳細情報の知得をご希望されるお客様は、下記の担当者までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。  
ご不明点・ご質問等がございましたら、遠慮なくお問い合わせ下さい。

**【連絡先】** 特許業務法人 HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK

外国専門部長 : 新井 孝政 (大阪本部在籍)  
外国専門部長代理 : 岡部 泰隆 (大阪本部在籍)  
TEL : 06 - 6351 - 4384 (代表)  
E-Mail : iplaw-osk@harakenzo.com

**【免責事項】**

当事務所は、本資料のコンテンツの正確性に努めておりますが、これを保証するものではありません。  
当事務所は、本資料のご利用により生じた損害・損失について、一切の法的責任を負いません。

**【無断複製・転載禁止】**

当サイトの掲載物は著作権法で保護されています。無断複製や転載は固くお断りいたします。  
特許業務法人 HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK, All rights reserved.